

なかつ市議会だより

令和2年
12月議会

「令和2年度 ひがた美人旬入りセレモニー」 が開催されました



日本初!干潟で作られたカキ「ひがた美人」は、7年前より首都圏を中心に出荷開始された中津の特産品です。その「ひがた美人」の旬入り宣言セレモニーが、小祝漁港の漁協直営カキ小屋「美人小屋」オープン前日の12月17日(木)に、関係者およそ30人が集まる中、開催されました。(「美人小屋」は3月21日(日)までの営業予定です。)

主催者より「今シーズンは、身入りも良く、既に市内・県内への出荷を開始しています。カキ小屋は、感染症対策を徹底しています。免疫力を高める効果のあるカキをたくさん食べて、コロナに負けない体づくりをしましょう」と力強い宣言がありました。

「なかつ市議会だより」は、中津市ホームページにも掲載しています。

<http://www.city-nakatsu.jp>

なかつ市議会だより

検索

発行/大分県中津市議会

発行年月日/令和3年(2021)年2月15日

12月議会 一般質問

- ◆令和2年12月議会において、市政全般に対する一般質問が行われました。その中から主な質問を紹介します。(質問順)
- ◆質問のタイトルの中で、色を変えた項目(ピンク色)についてのみ、質問と答弁の内容を掲載しています。
- ◆QRコードをスマートフォン等で読み込みいただくと、インターネット中継の議員ページにアクセスします。



かわ うち やちよ
川内 八千代
(日本共産党)



- ・**コロナ感染拡大の中で子どもと教育を守る支援策充実を**
- ・**家庭ごみのもやすごみ減量と無料収集の継続を**
- ・**国保税と介護保険料引き下げ**

問 ①教室に加湿機能付き空気清浄器の配置を。②災害時避難所にもなる学校体育館にエアコン設置を。③就学援助制度の受付期限延長とお知らせの徹底を。

答 ①各学校に希望台数を調査し、購入に向けた準備中です。②国県の制度、財政状況、効率性、維持管理費等総合的に考える必要があります。③再度、通知文書を保護者に配布し、校長会議で受付を延長したことや個別の声掛けをお願いしました。

問 令和3年7月プラごみ収集と同時期に有料化するのか。転入した市民は「家庭ごみ無料収集は唯一の中津のいい所」と評価。1,000筆超の署名付きで請願も提出されている。無料の継続を求めます。

答 容器包装プラスチックの分別収集とごみ袋有料化を同時に実施するとは説明しておりません。ごみ袋有料化については、廃棄物減量等推進審議会での審議及び答申を踏まえて検討し、実施時期は社会経済情勢等を十分に考慮し決定する考えです。



み かみ ひで のり
三上 英範
(日本共産党)



- ・**新型コロナ感染から医療・介護の崩壊を防ぐため**
- ・**真に暮らし満足の中津市に**
- ・**中津市の災害復旧事業の問題点とその改善策**

問 来年度の鳥獣対策補助の要望締め切り以降の新たな被害の発生にも、支援をすべきでは。

答 県の予算との関係もあり、予算の範囲内で対応することとしています。

問 市の水路支援の実績と今後の方向は。

答 水路の支援は、原材料支給や改修等の支援を行っており、今後も引き続き支援を行ってまいります。

問 ウンカの被害で営農をあきらめるとい声もあります。営農継続できるよう支援すべきでは。

答 効果の高い箱苗専用殺虫剤の使用徹底に向けて全農家に周知を行います。

問 次期介護計画に、国民年金でも利用できる高齢者施設の拡充を盛り込むべきでは。

答 高齢者施設の整備は、地域の要望や事業者の意向をふまえ、計画策定委員会で検討します。

問 市として、ヘルパー養成に取り組むべきでは。

答 市民の様々な意見があり、可能な限り介護サービスにつなげていくよう検討していきます。



す が かな こ
須賀 要子
(新生・市民クラブ)



- ・**脱炭素社会の実現に向けて**
- ・**中津市内のごみ減量について**
- ・**健康長寿のまちづくり**

問 大規模太陽光発電設置の規制の方針は。

答 国県の動向を注視し、必要な対策を検討します。

問 市として2050年脱炭素宣言の表明の考えは。

答 表明を行う事を目的とせず、提案を真摯に受け止め、実効性のある具体的な施策を検討します。

問 ごみ袋有料化の目的は。

答 ごみ減量・資源化の更なる推進のためです。

問 新たな資源回収エコステーションについては。

答 資源化の推進を目的に資源回収ステーションを設置することを検討しています。

問 事業系ごみの費用負担の変動については。

答 現在、中津市廃棄物減量等推進審議会において、事業系ごみの減量・資源化を推進するために、搬入料金の改定を含めて審議していただいています。

問 収入による健康格差が起きている事の対応は。

答 今後も経済的支援とともに、生活習慣病を予防、生活不活発の予防すること等により、健康づくりの取り組みを継続していきたいと考えています。



さが ら たか のり
相良 卓紀
(清流会)



- ・**夢と希望の持てる新たな過疎対策に向けて**
- ・**魅力ある農業振興**
- ・**希望の持てる企業誘致**
- ・**夢のある情報化の推進**

問 益々進む高齢化により各集落の営農組合や農業法人の存続が厳しい状況になると思われるが、今後の魅力ある農業振興へ向けての取り組みの考えは。

答 集落営農組織や法人組織等の法人間連携や農作業の効率化、また農業法人やまくにによるオペレータの派遣、さらに3年以内を目標に農業公社の支店設置に向けての協議を進めるとともに、ICTやAIを活用したスマート農業の推進に努めます。

問 中津日田道路の工事で発生する残土を企業誘致や住宅地の造成への活用、また未利用の公共施設・用地等の貸付や売却等による活用の考えは。

答 土地の用途や場所を幅広く検討し、工事で発生する土砂を利用する利点を最大限に考慮したいと思います。未利用の公共施設等については公募等の条件が整理でき次第積極的に公募を行います。

問 情報化の積極的な推進と専門部設置の考えは。

答 情報化推進の重要性は十分に認識しており、デジタル化を担う組織の新設の検討を進めています。



よし むら なお ひさ
吉村 尚久
(新生・市民クラブ)



- ・だれもがともに働くことができる社会の実現に向けた農福連携について
- ・地域の学校を守り、育てるために

問 国が昨年示した「農福連携等推進ビジョン」について農政及び福祉それぞれ、どのように受けとめているか。

答 (農政) 今後、福祉側と連携し、農業の担い手不足解消のため農福連携を推進していきたいと考えています。(福祉) 農福連携は障がい者に限らず、生活困窮者、ひきこもりの状態にある方の働きづらさや生きづらさを感じている方の就労・社会参画の機会の確保につながると考えます。

問 不登校など課題を抱えた子どもの学びや育ちを保障するために、また、地域の学校を地域とともに守り、育て、地域が元気になるために小規模特認校制度を深水小学校で導入すべきではないか。

答 教育委員会内で小規模特認校の設置に向けて協議を重ねており、現在、準備を進めているところで。



あらか ひろこ
荒木 ひろ子
(日本共産党)



- ・コロナ禍の市民の暮らし、生業の再建、感染拡大防止
- ・国保税の子どもの均等割廃止
- ・核兵器禁止条約の市の取り組み
- ・沖代校区冠水地域の解消

問 収入のない子どもに課税する国保税均等割を廃止し、高すぎる国保税の負担を減らす決断を。

答 子育て世帯の負担軽減を図り、少子化対策を推進する観点から必要と考えており、市長会を通じて子どもに係る均等割の軽減に対する支援制度を要望しているところで。

問 1月22日、核兵器禁止条約が国連で発効する運びとなりました。大分県で最初の非核平和都市宣言のまちとして市民に強い平和のアピールを。

答 原爆投下の日や終戦の日のサイレン吹鳴、市民への黙とうの呼びかけ、学校での平和教育など、今後とも地道に取り組んでまいります。

問 最近の気候の変化で沖代校区でも道路冠水、宅地への浸水と生活の支障が起きています。冠水箇所と冠水解消の対策を早めていただきたい。

答 沖代校区の浸水地域解消の対応としましては、中津市雨水対策基本計画の中で現在排水対策を検討し、計画的に整備を行っているところで。



つねが しんいちろう
恒賀 慎太郎
(創生なかつ)



- ・地方からできるCO₂対策
- ・令和3年の中津地価評価は
- ・高齢者運転の車が走りやすい路上規制線を

問 国が温暖化対策として進めている省エネ、高効率化によるCO₂削減事業の一つとして、教育現場である教室のLED化はできないか。

答 照明製造各メーカーが、従来型蛍光灯を製造中止しており、今後も計画的に整備していきます。

問 コロナ感染症により経済が低迷し、市民生活も厳しい状況が続いているが、固定資産税に影響のある路線価が7月発表されたが、市内の評価は。

答 7月時点の県地価調査によると市内では住宅地0.5%、商業地1.2%の下落となっています。令和3年度は、評価替えの年であり、市も1月1日を基準に市内386地点及び、7月時点での不動産鑑定を実施し、下落分を反映させ固定資産税路線価格の設定を行い、評価額を決定します。

問 生活道路から幹線道路侵入時の停止線である規制線が消えかけている場所が多いが、対策は。

答 警察署の交通課に連絡をいただければ、自治委員、団体でなくても、個人でも受け付けます。



おおつか まさとし
大塚 正俊
(新生・市民クラブ)



- ・家庭ごみ減量・資源化基本方針(素案)の問題点
- ・野良猫対策
- ・雑草の繁茂した空き地の解消に向けて

問 プラスチックごみの分別を先行させ、効果を見極めた後に、有料化の是非を検討するべきでは。

答 プラスチックごみは、令和3年7月実施を検討していますが、それ以外の施策も廃棄物減量等推進審議会の答申を踏まえ、ごみ減量・資源化推進に向けた施策の一体的な実施を検討していきます。

問 市の目指す一定量のごみ袋を全世帯に無料で配布し、それを超える分を有料化するべきでは。

答 一定量無料型では、減量や分別の効果が働きにくいため、ごみ袋を1枚目から購入し、減量と分別の効果が見込め、制度運用費用が抑えられる単純従量制での運用を考えています。

問 環境美化条例では、雑草問題は解決できません。行政代執行により、市が空き地の除草を行い、費用を所有者等から徴収する条例を制定すべきでは。

答 3か月で草が伸び代執行を繰返すことになるため、措置命令や行政代執行を条例に規定することは考えていません。今後も所有者への指導を繰返し行います。



みえの たまえ
三重 玉江
(清流会)



- ・スマートシティなかつをめざして
- ・新型コロナウイルス感染症について

問 デジタル化に向けて中津市の現状は。

答 当市でもあらゆる面でデジタル化を進めることが、重要施策の一つと考えており、国の流れに遅れることなく、積極的に推進していきます。ただ国の動きに合わせるだけではなく、市独自でデジタル化を進められる部分は率先して進めていきます。副市長をトップとする情報化推進委員会に、各課からの若手職員による「デジタルトランスフォーメーション」専門部会を設置し、メンバーから出された手続のデジタル化や業務効率化に関する提案について、検討を行っているところです。

問 新型コロナウイルス陽性者を取り巻く環境への対応について。

答 陽性患者が判明した場合には、入院等の調整から家族のサポートを含め、県が対応しております。お子さんや支援が必要な高齢者に対しても個別のケースに応じて対応しています。



おすみ としこ
小住 利子
(公明党)



- ・新型コロナウイルスワクチン接種について
- ・不妊治療支援事業について
- ・高齢者の移動手段の確保
- ・防災対策の充実強化について

問 不妊治療支援の現状と新たな取り組みは。

答 県は、令和2年10月から独自助成事業として妊娠を希望する夫婦が早期に検査、治療を開始出来るよう、検査費用を助成する「妊活応援検診費助成事業」を開始しました。(3万円上限 県1/2、市1/2負担) 特定不妊治療の体外受精、顕微授精、男性不妊治療等についても、国の補助が通算6回までに対し、大分県では、1出産ごとに6回まで助成の拡充を行っています。(県1/2、市1/2負担)

問 交通空白地域への交通手段の確保は。

答 11月に施行された法に基づき、利用者のニーズに沿った運行が出来るように、今後調査等を行い、「地域公共交通計画」を策定する予定です。計画の中で、中津地域の高齢化が進む中、バス利用促進のため、中津地域の既存の路線バスのバス停への乗り合いタクシー等による接続などの方策等を検討する予定です。



きのした もとのぶ
木ノ下 素信
(清流会)



- ・上下水道の災害に対する備え

問 上下水道施設の耐震対策として、どの程度の地震規模を想定しているのか。

答 震度6強以上の阪神淡路大震災クラスを想定しており、構造物が倒壊したり、外壁が脱落したりして、人命を奪うような被害が生じないように設計することを目標にしています。

問 平成28年1月大寒波時の課題についての対応状況は。

答 災害対策用のマニュアルを見直しました。その内容は、職員の初動体制と現場における指揮命令系統の明確化と連絡・伝達事項のフローを見直しました。

問 災害時に上下水道が安定して使用できるような対策を考えているか。

答 災害時にスムーズな活動が行えるように定期的に訓練を実施していくことが必要と考えています。



おおうち なおき
大内 直樹
(清流会)



- ・森林資源の活用促進について
- ・新型コロナウイルス感染症に対する経済支援の効果と今後の課題及び対策
- ・外国人技能実習生の支援

問 市産材利用を住宅だけではなく店舗や事務所の改装など対象を広げることも市産材の活用につながると考えるかどうか。

答 要件の緩和等については、限られた予算の中で効果的に市産材の利用が図られる取り組みを考えていきたいと思っています。

問 森林環境の保全に薪ストーブへ補助はどうか。

答 県内においては、薪ストーブの設置に対し補助を行っている事例もありますので、今後、研究をしていきたいと思っています。

問 今後どのような経済支援が必要と考えているのか、そしてまた地元経済団体との役割分担をどのように考えているか。

答 国や県による支援と合わせ、隙間を埋める支援策を市が行い、地元経済団体においては経営相談を行うなどの役割分担を行いながら支援を行ってきました。今後も感染状況等を注視し、連携を強化しつつ必要な支援を精査し取り組みを進めます。

令和3年3月議会の予定

2月	22日(月)	本会議「開会・会期・議案上程」	
3月	1日(月)		
	2日(火)	本会議「一般質問」(4日間)	
	3日(水)		
	4日(木)		
	10日(水)		
	11日(木)	本会議「議案質疑」	
	12日(金)	常任委員会	教育産業建設委員会
	15日(月)		厚生環境委員会
	16日(火)		総務企画消防委員会
	17日(水)		予備日
19日(金)	本会議「自由討議」		
23日(火)	本会議「委員長報告・質疑・討論・採決・閉会」		

★インターネット議会放映(録画)は、いつでも視聴できます。

本会議の映像をパソコンやスマートフォンよりインターネット上でご覧いただけます。
ライブ配信(生中継)と録画配信で、録画配信には、見たい映像を日付や議員名等から検索できる機能をつけています。

インターネット放映は

中津市議会HP

中津市 議会中継

よりご覧ください。

生中継中は **LIVE** アイコンが点滅します



【QRコード】



各議員の一般質問、代表質問、議案質疑の内容につきましては、市議会日程の該当日の約2日前に市議会ホームページでお知らせいたします。



まつば たみお
松葉 民雄
(公明党)



- ・行政サービスと効率化
- ・空き家対策について
- ・野良猫対策について
- ・**防災対策について**
- ・ごみの減量化について

問①浸水想定区域に位置する高齢者福祉施設(やすらぎ荘、望箭荘やまくに)から大分県に対し、河川堤防工事に関する要望が提出されたと聞いたが、これらの施設の避難対策について伺う。②大分県によると当該箇所の整備実現には10年近くを要するとあるが、地元自治体として実現に向けた働きかけと、喫緊の対応として施設内から容易に目視できる位置に水位表示を設置できないか。

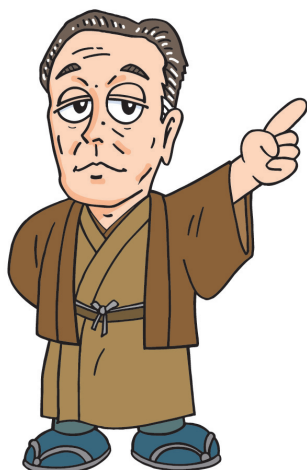
答①高齢者福祉施設等の避難確保計画の策定状況は96.2%(やすらぎ荘、望箭荘やまくには策定済)で、中津地域の2施設のみが策定には至っていないことから、引き続き周知を徹底し早期に計画が提出されるよう、働きかけていきたいと考えています。②豪雨時には、現在設置しているカメラや水位計を活用して、地域住民が安全に避難できるようにしています。更に令和2年7月豪雨を踏まえ、地域住民の安心を確保するため、大分県に水位の表示設置を要望して参りたいと考えています。

新型コロナウイルス対策に関する議会の傍聴について

※議会傍聴に関するお願い(新型コロナウイルス感染症対策)

議会の傍聴について、傍聴にお越しの皆様のご健康を守るため、また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間、ご遠慮いただくようお願いいたします。

なお、本会議につきましてはインターネット映像配信により視聴が可能です。映像配信・中継等の視聴のご協力をお願いいたします。



STOP!! 風評被害

全国的に、新型コロナウイルス感染症に感染した方や医療に従事した関係者、その家族に対して、周囲の方から不適切な発言や対応、また様々な風評被害により、残念なことも起こっています。新型コロナウイルスに負けることなく、みんなで励ましあい、支えあい、この苦難を乗り越えましょう!

相手の気持ち考えよう!誹謗中傷を止める勇気、そして思いやり!

【令和元年度(平成31年度) 政務活動費 収支報告】

政務活動費は「中津市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、議員の調査研究に必要な経費の一部として、議員1人当たり年額24万円を会派又は議員に交付しています。令和元年度(平成31年度)における各会派の支出状況、主な政務活動費の内容は次のとおりです。なお、報告文に関しては一部抜粋で掲載しています。

単位(円)

会派名	実績額											交付額	支給決定額	返還額
	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費	合計			
前進(5人)	385,846	699,240									1,085,086	1,200,000	1,085,086	114,914
ゆうき(4人)	210,712	381,320	283,284				35,530		47,452	958,298	960,000	958,298	1,702	
新生・市民クラブ(4人)	285,254	432,810	241,936							960,000	960,000	960,000	0	
清流会(4人)	94,310	555,633	112,862				8,168		105,890	876,863	960,000	876,863	83,137	
日本共産党(3人)	15,010	120,832	191,925		256,100					583,867	720,000	583,867	136,133	
創生なかつ(2人)	190,248	70,810							114,494	375,552	480,000	375,552	104,448	
公明党(2人)	135,934	17,000								152,934	480,000	152,934	327,066	

【清流会】

相良 卓紀・木ノ下 素信・三重野 玉江・大内 直樹

【調査研究費】

令和2年2月3日～4日

山口県周南市 徳山駅前賑わい交流施設について
山口県萩市 松陰先生のことばの朗唱
先人の教えを活かした志教育について

【研修費】

令和元年8月1日～2日

東京都江東区 全国地方議会サミット

令和元年8月7日～9日

滋賀県大津市 令和元年度市町村議会議員研修

令和元年10月17日

大分県大分市 大分県市議会議長会議員研修会

令和元年10月29日～31日

高知県高知市 全国市議会議長会研究フォーラム

愛媛県四国中央市 デマンドタクシーについて
地域児童見守りシステムについて
徳島県三好市 サテライトオフィスの誘致について
旧廃校舎の活用について

令和2年1月23日～24日

熊本県熊本市 ローカル・マニフェスト推進連盟研修会
「実体験から学ぶ災害時の問題と備え」

【広報費】

議会報告書印刷費、紙代

【資料購入費】

判例から学ぶ 政務活動費の実務 - 制度の基本から適正運用-1冊
66の改革項目と事例でつかむ議会改革実践マニュアル 1冊

【事務所費】

パソコン、プリンター、事務用品購入

〈清流会〉

令和元年10月30日(水) 徳島県三好市を視察
サテライトオフィスの誘致について

【内容】

平成18年3月1日に4町2村が合併し誕生した三好市は人口26,000人、面積721.42km²の山間のまちであるが、この三好市が進めるサテライトオフィスの誘致により、これまでに8社の企業が三好市に進出している。その取り組みを学び、中津市との合併後の人口減少が著しい旧下毛地域へのサテライトオフィスの誘致の参考とする。

【成果】

中津市は、市全体としては大分県下の中でも人口減少率は低い方であり、旧市内は少しではあるが増加している。その一方で旧下毛地域の人口は、合併後3,000人以上減少しており、特に本耶馬溪町、耶馬溪町、山国町における人口減少は著しい。合併後、旧下毛地域において民間事業者による整備が困難であった光ケーブル網を中津市が28億円の事業費を投じて整備し、平成23年6月に運用を開始している。移住定住、企業進出の推進を図れるということも事業の目的の一つであったが、三好市は正にそれを実現させた市であり、短期間のうちに首都圏を中心に8社もの企業誘致に成功している。

中津市においては、ダイハツ九州(株)の進出により関連企業の進出は順調に進んでいるが、これまでのところ企業の立地も人口の増加も旧市内に限られている。中津日田高規格道路の建設が進んでいるものの、今のところその地の利を活かした企業進出も実現していないのが状況である。旧下毛地域の人口減少問題は待ったなしの状況となっている。ぜひとも三好市のようなサテライトオフィスの誘致に積極的に取り組んでいく必要があると強く感じた。

【前進】	
古江 信一・草野 修一・角 祥臣・高野 良信・林 秀明	
【調査研究費】	
令和元年5月27日～29日	
三重県四日市市	議会改革及び議員政策提案について
三重県鳥羽市	農水産物直売の鳥羽マルシェについて
三重県伊勢市 (市立伊勢総合病院)	ロボットを活用したリハビリと緩和ケアについて
三重県松阪市	手と手でハートをつなぐ手話条例について
【研修費】	
令和元年10月29日～11月1日	
高知県高知市	全国市議会議長会研究フォーラム
高知県佐川町	自伐型林業について 他
愛媛県西条市	四国経済を牽引する総合6次産業都市について
令和2年1月22日～24日	
東京都（総務省）	要望活動「子供医療制度・外国人就労支援等」
神奈川県川崎市 (日本理化学工業㈱)	障がい者就労支援について
神奈川県川崎市	心のバリアフリーシンポジウム

ており、中津市でも早めに取り組みたい。さらに、平成26年より「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」が毎年開催され、高校生が意欲的に挑戦する姿がすばらしい。今後も、当事者の立場を尊重した改善に努めたい。

【新生・市民クラブ】	
吉村 尚久・大塚 正俊・千木良 孝之・須賀 要子	
【調査研究費】	
令和元年8月6日～8日	
群馬県太田市	外国にルーツを持つ子供への日本語学習の 取り組みについて 地域における外国人との共生の取り組みに ついて
群馬県富岡市	防災の取り組みについて 世界遺産（富岡製糸場）について
千葉県柏市	地域包括ケアシステムの取り組みについて
【研修費】	
令和元年7月29日～30日	
東京都文京区	「よくわかる地方財政と自治体予算」研修
令和元年10月29日～31日	
高知県高知市	全国市議会議長会研究フォーラム
徳島県上勝町	ゼロ・ウェイスト取り組み見学 彩事業説明 インターンシップ事業説明
令和2年11月1日	
大分県大分市	大西つねき講演会
【広報費】	
議会報告書印刷費、紙代、封筒代	

〈前進〉	
令和元年5月29日(水) 三重県松阪市を視察 手と手でハートをつなぐ手話条例について	
【内容】	
手話を知ってもらい、みんなが暮らしやすいまちをつ くろうと、ろうあ福祉協議会などの関係者で構成するワー キングチームで話し合ってきた条例。 ①手話が言語であるとの認識を広める ②市民みんなが手話の理解に努める ③使用することができる環境をつくる 具体的には手話普及や環境構築に向けた施策制定、 手話通訳者の配置補充、処遇改善を図る。松阪市では 平成26年4月1日に施行されており、全国4例目である。	
【成果】	
中津市では、平成31年4月1日に手話条例を制定した が、松阪市では広報・啓発活動を強化するため、庁内 職員向けや市民参加型のイベントを毎月開催し、多くの 参加者がある。また、市民の理解を推進するため、手 話条例のシンボルマークや普及啓発ポスター募集を行っ	

〈新生・市民クラブ〉	
令和元年10月29日(水) 徳島県上勝町を視察 彩事業について	
【内容】	
上勝町の主要産業であるみかん栽培が、昭和56年の 大寒波で全滅。立て直しの見通しが立たず、当初は葉物 野菜の栽培に取り組んだが、大阪のお店で妻物のみじ の葉に感動している女性客を見て、「上勝町にもある。 葉っぱを妻物として売ればビジネスになる」と農家に呼 びかけた。この事業を地域でやっていくため、年間を通 して仕事ができる仕組みを整えて農家を説得。今では ネットでの注文どり、収穫、パック詰め、出荷という工 程の中で約200軒の農家が携わっており、350種類の妻 物を出荷。近年では海外へも輸出している。事業に携わ る6割が65歳以上の女性であるが、葉っぱは軽いので 高齢者や女性でも運びやすいメリットがあり、元気に生 き生きと働くことができる。	
【成果】	
彩事業から学ぶべきヒントは「田舎は宝の山」、田舎 ではどこにでもあるようなものでも、都会では感動的な ものになるということである。そして、事業における収 益はもちろん大事だが、高齢者が生きがいを見つけ、「仕 事が楽しい」と言い、健康的にも効果が上がっていると いえる。中津市の高齢者に対しても健康寿命を延ばす取 り組みが行われているが、高齢者の力を活かす観光、6 次産業、教育などを模索していく必要があると感じた。	

【ゆうき】
藤野 英司・中西 伸之・本田 哲也・山影 智一
【調査研究費】
令和元年8月27日、29日 大分県臼杵市、宇佐市 上水道浄水施設における浄水システムの 技術・管理業務の知識取得
令和2年2月3日～5日 愛媛県新居浜市 新居浜市シティブランド戦略の策定について 愛媛県四国中央市 子供若者発達支援センター「palette」について 広島県尾道市 殻付き生ガキの衛生管理と販売の動向について (クニヒロ株式会社) 山口県防府市 スポーツセンタープールについて
【研修費】
令和元年10月17日 大分県大分市 大分県市議会議長会議員研修会
令和元年10月29日～31日 高知県高知市 全国市議会議長会研究フォーラム
令和元年11月4日～5日 大阪府大阪市 元地方議員に学ぶ議員活動向上セミナー
令和2年1月23日～24日 熊本県熊本市 ローカル・マニフェスト推進連盟研修会 「実体験から学ぶ災害時の問題と備え」
【広報費】
議会報告書印刷費、封筒代、郵送代
【資料購入費】
ゼンリン住宅地図購入（中津南、中津北） 各1冊
【事務所費】
プリンター、インク、事務用品購入

〈ゆうき〉

令和2年2月5日(水) 山口県防府市を視察
スポーツセンタープールについて

【内容】

防府市は、昭和50年に旧プールを開設したが平成13年度頃から老朽化により漏水等が発生するようになった。

平成23年にプールの耐用年数調査を実施。「施設全体が老朽化、利用者の安全性の確保が困難」との報告を受け、利用者の安全確保が第一との判断から、旧プールの閉鎖を決定したが、今後のプール施設整備についての市民アンケート調査を実施したところ、市民プールの必要性を感じている市民は約90%であった。

平成24年3月に防府市プール施設整備検討委員会から市長へ「新しいプール施設についての提言書」を提出。その後、防府市体育施設整備計画等検討委員会において、旧プール跡地に新しいプールを建設することを決定した。

平成25年8月13日より建設工事を開始し、平成26年7月5日に完成記念式典を挙行了た。

【成果】

中津市の子育て世代からの要望が多い市民プールの建設の参考となった。また、市民プール以外のスポーツセンターの整備についても、取り組みなど参考になった。2020東京オリンピックの事前キャンプの広報ができており、中津市のダイハツアリーナにも、その必要性を強く感じた。

【公明党】
松葉 民雄・小住 利子
【調査研究費】
令和元年10月15日～17日 香川県琴平町 グリーンスローモビリティの取り組みについて -琴平町コトコト感幸バス（低速電動バス）- 温泉街及び参道商店街の形成と町の支援について
広島県尾道市 空き家再生プロジェクトについて (NPO法人尾道空き家再生プロジェクト)
広島県呉市 産前・産後サポートセンター「えがお」について (呉版ネウボラ)
【研修費】
令和2年1月26日～27日 福岡県福岡市 九州地区自伐型林業連絡会設立記念講演会

〈公明党〉

令和元年10月15日(火) 香川県琴平町を視察
グリーンスローモビリティの取り組みについて

-琴平町「コトコト感幸バス」(低速電動バス) -

【内容】

琴平町では、コミュニティバスなどが無いことや高齢化の進展(38.6%)により、買い物、銀行、病院等へ行くための交通手段の確保を求める住民要望が以前より挙がっている。平成31年4月2日から24日までの間、低速電動バスをレンタルし、住民や利用者にアンケート調査を実施。令和元年12月から最長3年間、実証実験する予定。

【成果】

主には、高齢者などの交通弱者のために考えているが、

観光にも利用できればと言っていた。琴平町には国指定重要文化財である日本最古の芝居小屋があり、駅からの坂道をコトコトバスで登り、歌舞伎を鑑賞する事は一つの新たな取り組みになると思う。中津市でも、駅から40kmの範囲の観光コースをゴルフカート式で周遊するなどの取り組みで、観光客も増えるのではないかなと思う。

【日本共産党】 荒木 ひろ子・川内 八千代・三上 英範
【調査研究費】 令和2年3月27日 福岡県朝倉市 朝倉市の中山間地域における平成29年度の九州北部豪雨災害の状況と復旧の取り組み
【研修費】 令和元年5月25日～26日 東京都（明治大学） 国際フォーラム「家族農業の10年」と「農民の権利宣言」を考える
令和元年10月17日 大分県大分市 大分県市議会議長会議員研修会
令和元年11月24日～25日 兵庫県神戸市 災害対策全国交流会2019in神戸
【広報費】 市政報告会（教育福祉センター施設使用料）2回 議会報告書印刷代、折込料
【要請・陳情活動費】 令和元年8月20日～22日 国会議員会館 国政施策のレクチャー及び要望
令和元年10月25日 大分県庁 大分県への2020年度予算要望とレクチャー

〈日本共産党〉

令和元年8月20日(火)～22日(木)

市民要望を国の関係省庁に届け、要望・意見交換

【内容】

- ①市職員横領事件
- ②負担のない災害復旧事業の実施 他

【成果】

①市職員の横領事件で、市職員の領収書偽造によって、1,300万円の公金が不正に使われ、市が関係団体や市職員の氏名を明らかにせず、市民の不信が深まり続け、その上、国・県から返還を求められた為、返還に市民の税金を使ったことについて、国の見解を求めた。

それに対して国は、事件が解決していないことは承知している。今後も注視していく。今後の補助金の決定については、ペナルティとしての不採択は考えにくい。事業内容により審査されるべき、との回答。

②度重なる災害復旧事業と被災者の負担軽減について、国の見解は、「山国川床上浸水対策特別緊急事業の実施により、一定の効果があったと考えている。負担金の軽減については、まさに国としても被災者の負担を少なくするという思いで、補助率のかさ上げをして被災者の負担を軽減した。」であった。

【創生なかつ】 中村 詔治・恒賀 慎太郎
【調査研究費】 令和元年10月28日～30日 石川県輪島市 世界農業遺産「能登の里山」について既存建築物耐震改修促進事業について 石川県珠洲市 空き家を活用した移住・定住策について公共交通対策「あの町とこの町結ぶ珠洲のバス」について
【研修費】 令和元年10月17日 大分県大分市 大分県市議会議長会議員研修会
令和2年1月26日～27日 福岡県福岡市 九州地区自伐型林業連絡会設立記念講演会
【事務所費】 備品購入費（パソコン、プリンター）、消耗品費

〈創生なかつ〉

令和元年10月29日(火) 石川県珠洲市を視察

空き家を活用した移住・定住策について

【内容】

人口14,149人（2019年9月現在）の珠洲市は、2040年には7,500人になると予測されている。これを10,000人に留めようと、年間80人住む人を増やすことを目指し、20代のUターンまたは転出抑制により24人、30代前半の子連れ夫婦12組36人、60代の定年退職後のU・Iターン20人を目標として数値化している。

＜空き家を活用した移住・定住施策＞

- 空き家バンク制度
- U・Iターン世帯への家賃補助
家賃の1/2以内、最大5年間
- 空き家購入費補助金
購入経費の1/3（上限100万円）
- 空き家改修費補助金
改修経費の1/2（上限100万円）
- 定住促進空き家活用事業
市内の空き家を市が借上げ、改修後に利用者に転賃

【成果】

中津市は人口が微減状態（ダイハツ効果もあり）の中、近隣市町村に比べ人口対策に切迫さが足りないように思える。しかし、旧郡部の特に本耶馬溪、耶馬溪、山国においては合併後、人口減に拍車がかかっている。珠洲市の空き家購入費補助金、定住促進空き家活用事業等は中津市にはない事業である。これまで以上に力を入れるべきと感じた。

各常任委員会では各種団体の皆さんと意見交換会を実施しています！

中津市議会では、開かれた市議会をめざし、議会全体の「市民と中津市議会のつどい」とは別に各常任委員会（総務企画消防委員会、教育産業建設委員会、厚生環境委員会）では、市内の関連する各種団体などの意見交換会を行っています。今年度の各委員会の活動の一部をお知らせします。

総務企画消防委員会

委員長：大塚正俊、副委員長：松葉民雄、
委員：草野修一、荒木ひろ子、恒賀慎太郎、中西伸之、木ノ下素信、三重野玉江

- 日時：令和2年7月15日(水) 14:30～
- 場所：中津市役所5階 第1・2委員会室
- 団体名：中津市飲食業組合



【意見交換会の概要】

中津の食を通じた観光の一翼を担う飲食業の皆様方と「新型コロナウイルス感染症対策で行政に求めるもの」をテーマに、飲食業界の抱える課題や食による観光振興について意見交換を行いました。

意見交換会を通して、飲食店舗における厳しい経営実態や感染症予防対策の困難性を再認識し、委員会として食の観光を守るために必要な施策を執行部に提案していくことを確認しました。

教育産業建設委員会

委員長：角祥臣、副委員長：大内直樹、
委員：川内八千代、藤野英司、中村詔治、本田哲也、林秀明、千木良孝之

- 日時：令和2年12月1日(火) 13:00～
- 場所：中津南高等学校耶馬溪校 多目的室
- 団体名：中津南高等学校耶馬溪校



【意見交換会の概要】

1年生から3年生の生徒9名に参加いただき、PR動画の作成を通じて得られたことや、スクールバスの現状と課題、校舎の網戸設置の希望など、さまざまな意見をいただきました。

意見交換会でいただいた意見は委員会で調整のうえ、実現に向けて今後の委員会活動に取り組みます。

厚生環境委員会

委員長：吉村尚久、副委員長：小住利子、
委員：三上英範、高野良信、相良卓紀、古江信一、山影智一、須賀要子

- 日時：令和2年10月14日(水) 13:30～
- 場所：中津市役所5階 第1委員会室
- 団体名：中津市清掃事業協同組合



【意見交換会の概要】

中津市より委託を受けている清掃事業者6社から、ごみ収集に係る現状と課題についての説明を受け、その後、意見交換を行いました。

清掃事業者より、人材確保のための待遇改善、パッカー車の維持管理費の増加、ごみ問題に係る市民への啓発など、多くの意見をお聞きしました。

委員会として、意見交換会の内容を精査し、必要な施策を執行部に提案していくことを確認しました。

12月議会で決まった内容

令和2年12月議会は、12月1日から12月24日までの24日間にわたり開催されました。内容としては予算関係議案5件、条例関係議案5件、その他の議案8件、計18件を可決しました。また、人事案件4件を同意し、請願1件を継続審査としました。以下にその一部をお知らせします。(詳細はホームページをご覧ください。) また、閉会中の継続審査となっていた決算議案12件を認定しました。

条 例

- ◆固定資産税及び都市計画税の納期の特例に関する条例の一部改正について
- ◆中津市税特別措置条例の一部改正について
- ◆中津市火災予防条例の一部改正について
- ◆中津市工業化促進条例の一部改正について
- ◆中津市営急傾斜地崩壊対策事業分担金徴収条例の一部改正について

そ の 他

- ◆公の施設の指定管理者の指定について*7件
 - ・中津市八面山交流施設ふるさと回想館「八面山荘」
 - ・中津市西谷農村公園施設
 - ・中津市やかた地区交流拠点施設
 - ・中津市耶馬溪農林水産物等直売所
 - ・福澤記念館
 - ・中津市教育福祉センター
 - ・中津市山国高齢者生活福祉センター他8施設
- ◆財産の取得について

補 正 予 算

- ◆令和2年度中津市一般会計補正予算(第6号)
 - ・新型コロナウイルス対策として、避難所の環境改善のため、空調や無線LAN環境等を整備する経費
 - ・小中学校における感染症予防のため、カーペット張りである床の張替えや手洗い場の増設にかかる経費
 - ・新型コロナウイルスの検査を行う医療機関に対し、医療従事者にかかる休業補償保険料の一部を助成する経費
 - ・令和3年7月から容器包装プラスチックの分別回収を新たに開始するため、市民への啓発に必要な経費等
- ◆令和2年度中津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
- ◆令和2年度中津市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
- ◆令和2年度中津市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- ◆令和2年度中津市ケーブルネットワーク事業特別会計補正予算(第2号)

自 由 討 議

- ◆今後の議会のあり方 さらに開かれた議会を目指して
 - ①市民にもっと興味関心を持ってもらうには
 - ②議会だよりについて
 - ③市民と議会の集いのあり方について
 - ④議会の質問と答弁のあり方について(補足説明者：三重野 玉江 議員)



- ◆コロナパンデミックの下、国県と地方自治体の役割
 - ①議会が市長に要望した事項の到達点について
 - ②国・県に対する要望について
 - ③特に高齢者に関わり、第8期の介護計画に対する要望(補足説明者：三上 英範 議員)



以上2件について自由討議が行われました。

人 事

◆中津市固定資産評価審査委員会委員の選任について

小 雲 喜 三 氏 (72歳) (中殿町3丁目)
古 田 廣 美 氏 (60歳) (大字永添)

◆中津市公平委員会委員の選任について

矢 永 信 和 氏 (67歳) (大字大塚)

◆中津市教育委員会委員の任命について

本 田 貴 予 氏 (55歳) (中央町2丁目)

※ () 内の年齢は議案提出時の年齢

報 告

◆専決処分報告について(和解及び損害賠償の額の決定)*3件

- ・職員の公務中の交通事故に伴う和解及び損害賠償額の決定
- ・道路(市道)管理者としての和解及び損害賠償額の決定
- ・施設管理者としての和解及び損害賠償額の決定

請 願

◆家庭ゴミ無料収集の継続を求める請願書

以上1件の請願は継続審査としました。

決 算 審 査

◆令和元年度中津市一般会計決算の認定について

◆令和元年度中津市国民健康保険事業特別会計決算の認定について

◆令和元年度中津市農業集落排水事業特別会計決算の認定について

◆令和元年度中津市介護保険事業特別会計決算の認定について

◆令和元年度中津市小規模集合排水事業特別会計決算の認定について

◆令和元年度中津市サイクリングターミナル事業特別会計決算の認定について

◆令和元年度中津市後期高齢者医療特別会計決算の認定について

◆令和元年度中津市ケーブルネットワーク事業特別会計決算の認定について

◆令和元年度中津市病院事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

◆令和元年度中津市診療所事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

◆令和元年度中津市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

◆令和元年度中津市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

◆賛否の分かれた議案

[議第88号] 令和元年度中津市一般会計決算の認定について

[議第89号] 令和元年度中津市国民健康保険事業特別会計決算の認定について

[議第98号] 令和元年度中津市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

(個人ごとの表決結果を賛成○、反対×、棄権ー、欠席は欠で表しています。)

議案番号	議決結果	前 進					ゆうき			新生・市民クラブ				清流会			日本共産党			創生なかつ		公明党			
		古江	草野	角 祥	高野	林 秀	藤野	中西	本 田	山 影	吉 村	大 塚	千木	須 賀	相 良	木ノ下	三 重	大 内	荒 木	川 内	三 上	中 村	恒 賀	松 葉	小 住
議第88号	認定する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
議第89号	認定する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
議第98号	認定する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○

※ 上記以外の議案については、全会一致で**原案可決、認定、同意**となりました。

なお、議長は採決に加わらないため斜線としています。